

科コード	VF1	科名	Ⅱ部服装科1年	単位	1
科目コード	400210	科目名	服飾デザイン論Ⅰ	授業期間	後期

担当教員(代表)：小島 有紀	共同担当者：-
----------------	---------

教育目標・レベル設定など 教育目標 ：服飾デザインにおいて基礎となる「色彩」を見る力や分析する力を養い、講義及びカラーワークを通して実践する。 レベル設定 ：色彩学の基礎知識や基本的な配色理論を習得し、ファッション業界で色彩を展開する方法を学ぶ。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先 ●服飾デザイン概論・オリエンテーション(1コマ) ・服飾デザインにおける「色彩」/ファッションにおける「色」の活用と展開 ・カラーカード(ベーシックカラー140、カラーチャート140)の取り扱いと準備 ●色彩の基礎(1～2コマ) ・色彩の性質と体系 ・有彩色と無彩色/色の三属性(色相・明度・彩度) ・トーン/純色・清色・濁色・トーンの成り立ちとイメージ表現 ・カラーシステムについて ●色彩とイメージ(1コマ) ・色によるイメージ効果 ・色相と温度感/明度と重量感・硬軟感/彩度と強弱感・派手地味感 ・色と連想/色と象徴 ●カラーコーディネーション(配色技術)(1～2コマ) ・色彩を基準にしたカラーコーディネーション(同一色相・類似色相・中差色相・対照補色色相) ・トーンを基準にしたカラーコーディネーション(同一トーン・類似トーン・対照トーン) ・カラーワーク作品(コントラスト配色) ●色彩の科学(1コマ) ・光と色彩/光の色・物体の色/色の見え方 ・三原色と混色(減法混色と加法混色) ●色彩の基本まとめ・活用について(1コマ) ・色彩の識別まとめ(色相・トーン)・色感/色の対比の基本的な見方 ・配色のまとめ ・ファッション業界における色彩の活用ポイント *上記の内容を、講義や実習を織り交ぜながら進める。
--

評価方法・対象・比重 S～C・F評価 評価基準：学業評価60%(提出物・作品課題の内容評価)・授業姿勢40%(出席状況、参加姿勢、提出物の提出の有無)
--

主要教材図書 文化ファッション体系 服飾関連講座⑨ 『服飾デザイン』文化出版局
参考図書 なし
その他資料 ベーシックカラー140・B5版、ベーシックカラー140・B8版(日本色研事業株式会社) カラーチャート140

記載者書名欄 小島 有紀

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VF2	科名	Ⅱ部服装科2年	単位	1単位
科目コード	500820	科目名	ファッションデザイン画 Ⅱ	授業期間	(半期組交代)

担当教員(代表) : 橋本 定俊	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

画材研究による彩色表現の広がりテクニックの上達を目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・画材研究・ノーマーカーによる彩色テクニックの習得 <2コマ>
- ・画材研究・ノパステルによる彩色テクニックの習得 <2コマ>
- ・マイコレクション/着装表現とデザインバリエーション展開
就職活動にむけてのポートフォリオの作成方法 <3コマ>

【評価方法】

課題作品による評価 評価基準:学業評価75%、授業姿勢25%

授業の特徴と担当教員紹介

ファッションデザイン画のテクニック向上に加え、担当教員のアパレル業界でのデザイナーとしてのキャリアと知識に基づく、学生の未来に視点を置いた学習内容と指導になっている。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 橋本定俊

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VF2	科名 II部服装科 2年	単位	1単位
科目コード 304020	科目名 服飾手芸II	授業期間	半期組交代

担当教員(代表) : 齊藤美子	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服作りの発想の可能性を広げる新たなテクニックの習得し、立体造形・装飾表現の新しい発想につなげる。
併せて実際の商品に取り入れた作品を調査し、服作りに応用発展できることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

◆授業方法 : 講義と演習

1. エンブroidアリー、レース (6コマ)

布加工の技法や刺繍の表現・レースの技法を各種演習し、テキスタイル的に布に様々な表情をつける方法を習得する。

- ① シャーリング (布を縮める技法による表面効果を習得する。)
- ② キルティング (布全を膨らませてテキスタイルを作る方法を習得する。)
- ③ リボンワーク (リボンを素材とした数々の技法(バラ、小花)にあわせて立体的に装飾する技法を習得する。)
- ④ ニードルポイントレース (レースのテクニックの中の針を使ってレース表現をする基礎テクニックを習得する。)
- ⑤ ファゴティング(布と布の相田に糸でかがりを入れ、透かし模様を表現する技法を習得する。)

2. マップ製作 (1コマ)

①～⑤で製作した作品をマップの形に完成させる。

実際の商品に取り入れた資料を調査収集し、添付する。

【評価方法】 制作物による評価

作品 : 授業態度・出席状況 = 8 : 2

主要教材図書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸
参考図書	THE ART OF Manipulating Fabric (Colette Wolff)
その他資料	実物標本、段階標本

授業の特徴と担当教員紹介

オリジナルバッグブランドを立ち上げ、物づくりの活動経験を活かし、服作りの発想の可能性を広げるためにテクニック、立体造形・装飾表現の技法を講義と実習をとおして実施。

記載者氏名 齊藤美子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 科目コード	科名 科目名	II部服装科 3年 (選択) ファッションデザイン画 III	単位 授業期間	3 単位 後期選択
---------------	-----------	-----------------------------------	------------	--------------

担当教員(代表)：岡本あづさ

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

各自のテーマに向けて独自の発想イメージを具体的に表現できる実力を身に付ける
改めて画材の特徴、特質を知ることによってデザインの表現テクニックを強化する。人に対して見せる（魅せる）伝えるための
プレゼンテーションの方法、自分をアピールする方法を常に考え意識しながら表現していく作品制作を目指し目標とする

【授業計画】

- | | |
|--------------------------------------|---|
| I.オリエンテーション (2コマ) | <ul style="list-style-type: none"> ・「まるいもの」からのデザイン展開 |
| II.テーマからのデザイン展開 (6コマ)
(画材研究と同時進行) | <ul style="list-style-type: none"> ・各自研究し、追求したいテーマを設定
デザイン展開を考えて行く
マーカーのデモンストレーション
画材のテクニックを知る事で表現の可能性を広げて行く |
| III.オリジナルテキスタイル (5コマ) | <ul style="list-style-type: none"> ・各自のテーマから様々なアイデアを出しオリジナルのテキスタイルを提案
実物製作をしその素材をメイン素材としてデザイン展開を考える |
| V.アイテムデザイン (4コマ) | <ul style="list-style-type: none"> ・各自のデザインテーマを軸に、注目するアイテムを選択
そのアイテムについて様々な興味のある角度から調べ、研究し
シーズンを意識したデザイン展開を考える |
| VI.サブテーマ (5コマ) | <ul style="list-style-type: none"> ・各自のメインテーマに対しデザインの可能性を広げる為の
サブテーマを選択
2つのテーマからのデザインを考える |

【評価方法】

評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%

主要教材図書

参考図書 各分野での展示カタログやアーティストの作品集、ファッション誌、雑誌等。

その他資料 卒業生の参考作品など YouTube動画（デザイン画テクニック）

授業の特徴	3年時ということも考慮し、発想する事だけで終わるのではなく、イメージをより具体的にデザインする事を意識していく。
担当教員紹介	学院卒業後デザイン画講師として活動。（文化服装学院 / 文化学園大学短期大学部 / 文化ファッション大学院大学）その他、ユニフォームイラスト、ファッションイラストの仕事を手がけ、個展も開催 2017年にはファッションイラストとして初めてイラストが日本郵便局から切手が発売された 2020年から「ファッションドローイング」のYouTubeチャンネル「ADUSA's design drawing technique」をスタートさせる

.....
記載者氏名 岡本あづさ
.....